

評価細目の第三者評価結果

(保育所、地域型保育事業)

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-1(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-1(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園は理念、基本方針を「事業計画」「パンフレット(園のご案内)」「重要事項説明書(入園のご案内)」「ホームページ」に明文化し、周知に努めている。 ・保護者へは入園時に重要事項説明書を用い、理念や方針を丁寧に説明し、「保護者会」で伝え理解に努めている。 ・またいつでも確認できるように玄関に掲示している。 ・理念・基本方針は法改正・社会状況・要望など総合的に判断し更新している。

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
I-2-1(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-1(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・本部は国や行政の「施策」「地域の福祉ニーズ」「園からの各報告」「経済状態」「業界の動向」を入手し把握・分析し、安定した保育環境を継続できるよう努めている。 ・本年度見沼区保育園会議の区長を努め積極的に地域保育の実態把握に努めている。
I-2-1(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・経営課題は年度末に分野ごとに分析・整理し、次年度へ向けての具体的実施内容を明示している。 ・さらに理事会承認を受け次年度実行しやすくしている。 ・また今年度より5年毎に「福祉サービス第三者評価」受審を計画し課題の明確化に努めている。

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-1(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な計画が策定されていない状況です。 ・職員全員が一貫した方向性を持ち、成長や発展を促進するために、中長期計画の策定を望みます。
I-3-1(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・単年度計画は「保育計画」「子育て支援センタ事業」「保育実習生受入れ」「職員体制」「懇談会・保護者アンケートからの要望・意見」「施設設備状況」「職員自己評価」等前年度の実績や課題を照らし合せ総合的に策定している。 ・また、分野ごとに整理され職員が理解・実行しやすいように工夫されている。
I-3-1(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-1(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・園は「各会議」「保育の振り返り」「保護者アンケート」「保護者会」「年2回の自己評価」等から状況を年度末に当該年度の計画を見直し、次年度の計画に反映している。 ・周知・理解に差があるため園が目指す姿や取組を継続して周知徹底に期待します。
I-3-1(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画は「重要事項説明書(入園のご案内)」に分かりやすく掲載し、保護者に理解していただきやすいよう努めている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント
I-4-1(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-1(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの質の向上に取組むにあたり今年度「福祉サービス第三者評価」を受審しさらなる向上を目指している。 ・7月・12月に管理・組織部門も十分に踏み入れた自己評価を実施している。きめ細かく把握・改善しようとする前向きな姿勢が感じられる。
I-4-1(1)-② 評価結果に基づき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・園は「年2回の職員自己評価」からの客観的課題の抽出、「各会議」などからの振り返り・取組の評価・職員からの提案など十分にアセスメントはとれている。 ・具体的な改善策を計画として着実に実行されることに期待します。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
II-1-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。		
II-1-1-1-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制には「職務・職責」「役割と責任」「求められる姿勢・知識・技能・能力・取り組み姿勢」などをわかりやすく明示している。 管理者は役割と責任を十分に理解し職員に伝えるよう期待したい。 園長と園長代理の職責が不明瞭な点が見受けられるため改善に努めていただきたい。
II-1-1-1-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 「行政の園長会議」「外部研修」「行政通知」から最新の情報を確認し、職員へ説明している。 不明瞭な点は行政・会計士・社労士に確認を行い、正しい理解に努めている。
II-1-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
II-1-1-2-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	<ul style="list-style-type: none"> 「自己評価分析」「研修報告へのアドバイスの記入」「受講研修の提案」「面談で意向の確認」など行っている。 今年度は福祉サービス第三者評価を受審し、現状を把握して課題を抽出したい意向を持ち取組んでいる。 リーダーシップに関し自ら見直すよう努めている最中である。今後さらに指導力を発揮するよう期待します。
II-1-1-2-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<ul style="list-style-type: none"> 職員の働きやすい環境づくりのため社労士や会計士にアドバイスを受け随時規定の改訂をしている。 委員会など統廃合し新たな仕組みを作るなど職員が共有・改善しやすい環境を整え柔軟な対応をしている。 職員サポートのために心理カウンセリング導入を本部に提案するなど実態に即した取組に努めている。 さらに実行力をたかめるために指導力を発揮するよう期待します。

II-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
II-2-1 (1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
II-2-1-1-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c	<ul style="list-style-type: none"> 人材確保・定着の計画は作成されていない。 現在は個別に対応をしているが、より細かく育成・採用計画を立て具体的に実行されることを期待します。 職員の意向を反映したシフト作成を行っている。 コロナ禍でも臨機応変にオンライン就職相談会を実施している。 定年延長や支援員採用など積極的な人材確保に努めている。
II-2-1-1-② 総合的な人事管理が行われている。	b	<ul style="list-style-type: none"> 「役割と責任」「求められる業務・姿勢・知識・技能・能力」が具体的に明示されている。 また「年2回の自己評価」を実施し、到達度を確認できる仕組みがある。 上記、仕組みを十分に活用し総合的な人事管理が行えるよう期待します。
II-2-1 (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-1-2-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<ul style="list-style-type: none"> 園は多様な働き方ができるよう短時間・日の勤務可能な体制を整備し、幅広い人材が活躍できるようにしている。 毎月希望休などの意向を聞き、職員の意向が反映しやすいシフト作成を行い職員が働きやすい環境を整えている。 主任は突発的な休みや保育内容に応じて自らサポートに入り滞りない運営に努めている。またクラス会議に入り思いを聞きながらアドバイスをおこなうなど園全体で保育が行えるようサポートしている。
II-2-1 (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-1-3-① 職員一人一人の育成に向けた取組を行っている。	b	<ul style="list-style-type: none"> キャリアアップ規定に経験年数ごとの「役割と責任」「求められる業務・姿勢・知識・技術・能力・取り組み姿勢」「研修・資格」を明示し、キャリアに応じた育成を行っている。 主任がOJTを実施し、職員が実務の中でスキルや知識を習得・向上できる仕組みにしている。 育成においてバラツキが見受けられるため、今後は職員の意向・要望を反映した個別の育成計画を作成し、計画的な育成に期待します。
II-2-1-3-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 園はキャリアアップ規定に基づき役職・経験年数・担当ごとに園外研修の参加を促している。 園内研修は年度末に評価・反省を行い、翌年度に強化したい分野を抽出している。 また園はワークライフバランスに配慮し、昨年度よりオンライン研修ツールを導入し、いつでも研修が受けられる体制が整っている。

II-2-(3)-③ 職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 参加型の研修は職員が参加しやすいよう勤務時間内に受講ができる体制にしている。 キャリアに応じて外部研修を実施し、受講後は報告書を回覧し全職員に共有している。 Web研修(2社)を導入し職員一人ひとりがライフスタイルに合わせて自ら学べるよう環境が整っている。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<ul style="list-style-type: none"> 早急にマニュアルを策定し、学生にも職員にも迷わず実習が行えるよう努めていただきたい。 実習生が安心して実習が行えるよう担当職員がオリエンテーションから報告まで一貫して対応を行っている。 園は養成に貢献したい意向があり今後直接訪問し園の理念・方針などを伝え相互理解した上で実習生の受入れを増やしたいと考えている。 小学校教員の研修を積極的に受入れ、発達に即した指導や円滑な教育の接続など相互理解の促進に寄与している。

II-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに「定款」「役員名簿」「役員報酬」「決算書」「自己評価」「保育理念」「保育方針」「保育目標」「園の特色」「写真で活動の様子」を公開し透明性を十分に確保している。
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 経理規定を整備し事務・経理専任担当者が必要に応じて会計士・社労士等に相談し適正な運営を行い透明性を確保している。 さらに社会福祉法人として評議会・理事会で検討する仕組みがあり適切な運営が行われている。

II-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方にサポートいただき「ハロウィンで子どもたちにお菓子を配ってもらう」「芋ほり用の畑の管理や栽培の指導」「焼き芋づくりの調理」「卒業式の花飾り製作の指導と作成」など積極的な交流を図っている。 また「高齢者施設訪問」では子どもたちが歌や踊りを披露したり、手作りのプレゼントを贈ったりすることで、世代間の交流が生まれている。高齢者の方々も子どもたちとの触れ合いを楽しみ、心の交流が生まれることで、地域全体が温かいコミュニティとして育っている。 子育て支援室(星の子サロン)を運営し、一時保育・育児相談・栄養相談・健康相談を実施し、保育士・栄養士・看護師などが細やかに対応し身近に相談できる場所として地域に提供している。
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア受入れマニュアルを策定し、体制を整えるよう努めていただきたい。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 関係先や団体の一覧は事務所に掲示され、すぐに連携ができる体制にしている。 特別に配慮が必要な子どもへは行政・療育機関と連携を図り育成支援・発達支援など連携している。 毎年、市内中学生の職業体験(未来くるワーク)を受入れている。
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 区内保育園会議からの情報をもとに区長を努める情報交換会で積極的に地域保育の実態把握に努めている。 また子育て支援室を開放し、利用者の相談内容や感想から実態把握に努め、事業計画へ反映できるよう本部と共有している。
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援計画に園児・保護者への子育て支援同様に地域への子育て支援を明示し計画性を持った活動が行われている。 子育て支援室(星の子サロン)を運営し、一時保育・育児相談・栄養相談・健康相談を実施し、保育士・栄養士・看護師などが細やかに対応し身近に子育てをサポートする場所・相談できる場所として機能し、保育園の専門性を還元している。 近隣の方が希望があった場合はAEDを貸し出せるようにしている。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-1 (1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-1 (1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・「年2回の自己評価」「人権セルフチェック」を実施し、職員が自らの保育を振り返り、子どもを尊重する保育を行っている。 ・事業計画・組織体制の「役割と責任」「求められる業務」「求められる姿勢」「求められる知識・技能・能力」「求められる取り組み姿勢」「期待する職員像」・研修内容・自己評価など随所に明示され、子ども主体の視線・姿勢での保育に努めている。
Ⅲ-1-1 (1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園はプライバシーポリシーを策定し、就業規則でSNS利用制限を明示し、個人情報について取り扱い姿勢や責務を明確にしている。 ・保護者へは入園時に個人情報取り扱いを説明した後さらに玄関に掲示している。 ・職員は「年2回の自己評価」「年3回の人権セルフチェック」を実施し職員が保育を振り返りながら自ら気がつけるようにしている。 ・外から子どもたちの様子がわからないよう工夫するなどプライバシー保護の徹底に努めている。
Ⅲ-1-1 (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
Ⅲ-1-1 (2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに「保育理念」「保育方針」「保育目標」「保育の特色」「施設や園児の活動の様子の写真」「年間行事」「一日の流れ」「よくある質問」などを掲載し入園後のイメージが持てるよう工夫している。 ・入園希望者に対しパンフレットを用意し随時園見学を実施している。 ・またパンフレットには非常災害時の対応を掲載し、入園前から参考にできるようにしている。
Ⅲ-1-1 (2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等に分かりやすく説明している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・開始時は入園説明会で図などを用いた重要事項説明書(入園のご案内)で丁寧に説明している。 ・変更時は、保護者会で説明し、その後ICTや掲示を活用して周知・理解促進に努めている。
Ⅲ-1-1 (2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は転園先からの意向があれば対応している。 ・今後は支援の継続性に配慮し、保護者に了解を得た上で次園へ育ちの記録を引継ぎたい要望を持っている。
Ⅲ-1-1 (3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-1 (3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・「行事後アンケート」「個人面談」「意見箱」「日頃の会話」「ICT連絡帳」などから意向・要望や満足度を把握するように努めている。 ・さらに今年度は「福祉サービス第三者評価」を受審し、意見を把握し、園全体で向上しようとしている。 ・子どもの満足度は、保育の評価をする際に担任間で話し合い確認している。
Ⅲ-1-1 (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-1 (4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員会を設置し苦情解決の体制が確立している。 ・入園説明会で第三者委員会や要望や苦情に関する相談窓口を説明し、また園内掲示し、周知に努めている。 ・また事業報告書に「苦情解決及びご意見箱による保護者からの要望」欄を設け公開、また開園からの内容と件数を園内掲示している。
Ⅲ-1-1 (4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は子どもや保護者の様子や連絡帳の内容から声を積極的に拾い、必要に応じて面談に誘うよう努めている。 ・「保護者会」「個人面談」「保育参観」「保育士体験」「行事後アンケート」「ICT連絡帳」「意見箱」など、複数の方法を通じて保護者が意見を伝えやすい環境を整えている。
Ⅲ-1-1 (4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や意見があった場合は園長代理・主任へすぐ報告する体制があり個別に対応している。 ・検討は園長代理・主任・担任が中心となり、「朝礼」「通常会議」「臨時会議」で共有に努めている。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・年間安全計画を策定し、「避難訓練」「引渡し訓練」「不審者対応訓練」「園外活動時の安全対策研修」「救急時対応訓練」「エビペン使用訓練」など行っている。 ・マニュアルは場所ごとに注意・禁止事項と理由がまとめられおり職員がどこで何に気を付ける必要があるかがわかりやすく共有しやすくなっている。 ・ヒヤリハットやアクシデントは発生日時順にまとめられ、起こりやすい場所や時間・曜日などがわかりやすく職員が共有・再発防止に努めやすくなっている。 具体的事項として ・防犯対策は「防犯カメラ10台設置」「緊急時は受話器をとれば警察と直ぐ連絡がとれるシステム」を導入している。 ・安心対策は「保育室飛散防止フィルム施行」「AED設置」、近隣警察署協力の下「交通安全教室」「不審者訓練」を行っている。 ・看護師は自ら「応急手当普及員研修」を受講し、職員啓発に積極的に努めている。
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師2名が在籍する事よりの確な処置や安心が得られるようになっている。 ・また看護師による「嘔吐物処理」研修を実施し、職員が的確な消毒が行えるようにし、保育室には「嘔吐物処理方法」「消毒薬作成方法」を掲示し正しい手順で行うことで感染拡大防止に努めている。 ・保護者へ毎月「保健便り」を発行し、時期に合わせた啓発や予防方法などの情報を発信・共有することで子どもの安全に努めている。 ・感染症発生時は保護者へアプリと玄関掲示で周知し、感染拡大予防に努めている。
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・年間安全計画を策定し毎月さまざまな想定で訓練を実施している。 ・9月に引渡し訓練を実施し保護者と共に子どもの安全確保に努めている。 ・実施後は担当場所ごとに具体的な振り返りが行われ、災害時により子どもを守ることに繋がる提案が多数見られた。 ・災害時備蓄食は臨機応変に対応できるよう多めに準備し、またアレルギー対応食も準備している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・保育マニュアルには場所・場面・時間ごとの実施内容が文書化されている。 ・さらに「絵本の読み聞かせ」「リズムあそび」「夕方以降の過ごし方」「降園時の連絡」「土曜保育」「行事」にわけわかりやすく記載されている。 ・標準的なマニュアルの充実に期待したい。
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルの変更は園長代理と主任が日々職員からの声を拾い、必要に応じて会議で話し合い改訂している。 ・変更内容は会議で各クラスの代表へ伝え、各職員に共有できるようにしている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画(個別支援計画)を適切に策定している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・日々家庭から聞いた状況・連絡帳・子どもの様子などを毎日クラス内で共有し、月末に総合的に検討し個別支援計画を策定している。
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画(個別支援計画)の評価・見直しを行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は毎日クラス内で情報を共有し日常的にPDCAを行っている。 ・月末に改めて複数の職員で話し合い、今の計画のまま期間を延長するのか、アプローチや支援方法を変更するのか、次のステップに進めるのかなど見直しを行っている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況(個別支援計画)の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・計画・記録はICTを活用しクラウド上に記録・保管され、端末いつでも確認したい時にすぐ確認できるようになっている。 ・また月1回の職員会議で共有している。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園は「プライバシーポリシー」「情報セキュリティ管理規定」「パソコン管理規定」「個人情報保護規定」「SNSの取扱い」を策定し、職員は入職時に個人情報取扱いに誓約している。 ・個人情報は鍵付きの書庫に保管している。

A 個別評価基準

A-1 保育内容

	第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	<ul style="list-style-type: none"> 全体的な計画は前年度の各評価や職員の意見を集約し、保育方針をもとに長期的な見通しをもって策定されている。 基本事項の他、「情報公開」「地域の子育て支援事業」「自己評価」なども網羅されている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	a	<ul style="list-style-type: none"> 各保育室は一面が窓になっており日当たりがよく明るい環境になっている。2F保育室はベランダ側通路に沿って目隠しを施しプライバシーに配慮している。 また子どもの成長に応じてレイアウトを変更するなど柔軟に対応している。 職員は規定された温度・湿度に合わせ冷暖房・加湿器・換気などを調整し良好な環境に努めている。
A-1-(2)-② 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 職員は子ども「今の気持ち」「やりたい事」「やろうとしている事」「何だろう」「どうして」などを一人ひとりの子どもを受け止めるよう努めている。 また遊びを共にし、困っているときは同じ目線に立って考え、一人ひとりと話す時間を設けるなど気持ちを理解しようと丁寧に関わっている。
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> 職員は子どもの動きや視線・会話から興味・関心を見逃さないように努め、一人ひとりのペースを大切にし、やってみようとする気持ちを引き出せる言葉かけやタイミングを図っていた。 「子ども自身が必要感を持って基本的な生活習慣を身につけていく」ために看護師・栄養士も積極的に子どもと関わり伝えている。
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に子どもが活動できるよう事務所職員・看護師・栄養士も積極的に協力している。 職員は年齢が上の子は思いやりの気持ちが育つように、小さな子は真似する事で活動の幅が広がるように異年齢の関わりを大切に保育が行われている。 園庭利用は伸び伸びと安全に活動できるよう乳児と幼児に時間を分けている。 職員は遊びを共にし、興味関心が広がるよう会話をしていた。 子どもが自分ならではの表現ができるよう造形教室(外部講師)やリズムあそびを行っている。
A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> 担任間で毎日それぞれの子ども様子を共有し、話し合いを行っている。 子どもの興味や発達に合わせてタイムリーにおもちゃの入替を行っている。 本やおもちゃは子どもの視線に合わせた棚に子どもが取りやすく、しまいやすいよう余裕をもって収納されており、自然と片づける習慣が身に付けられるようにしている。 椅子は正しい姿勢にするため手作りの背あてを状態に合わせて活用している。 コップはあえて持ち手のないコップを使い、両手で持てるようにする等、生活の中で発達を促す工夫が見られた。
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの声、発達、生活動線、安全面を考慮し、成長に合わせた空間になるようレイアウト変更を随時行っている。 食事・あそび場・本を読むなどそれぞれの活動の場に職員が見守り子どもの声を丁寧に聞き、遊びや興味が広がるよう声かけをしていた。 排泄・食事・午睡への移行時間は「待つ」「見守る」ことを大切に、子どもを急がせることなくさりげなくサポートしていた。
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが遊びの中で発見したり、新たな事を思いついたり、感じたり、気づいたりしたことを見落とさず「やってみよう」遊びを自分で選べるよう、いくつもの遊びが用意されている。 自分の考えや思いをきちんと言葉で伝えられるよう、職員は最後まで話を聞いていた。 保育室に「写真入りの歯の磨き方」「体の役割」「正しい座り方」「箸の持ち方」「食器の並べ方」などポスターを掲示し、子どもにわかりやすく伝えている。

A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な子へは行政や療育機関と密に連絡をとり職員と共有している。 ・個別支援計画を必要としている子どもは集団生活の中で身に付けたい事や経験したい事を生活の中で学べるように努めている。 ・昨年度は会議での共有の他、3回園内研修を実施し、職員共有や子どもが迷わないよう対応の統一を図っている。
A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・保育マニュアルに「夕方以降の過ごし方」「合同保育の絵本の読み聞かせ」「点呼」「保護者対応」が記載されており共有しやすくなっている。 ・延長保育は乳児と幼児に分け、それぞれ合同保育を行い、職員はゆったりと関わり、家庭的な雰囲気作りに努めている。 ・降園時間によって、おやつを提供している。
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・4歳児クラスからドリルを導入し、線を書く・ひらがなを書くなど徐々に学習を始めている。 ・さらに5歳児クラスは年明けから午睡の時間を減らし、全クラスの担任が当番制でオリジナルのカリキュラムを実施している。 ・小学校へ訪問し、就学への期待が高まるよう努めている。 ・卒園前に個人面談を実施し、保護者の不安などの解消に努めている。
A-1-(3) 健康管理		
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤の看護師2名が在籍し、安心して預けられる体制が整っている。 ・看護師が毎朝、各クラスを巡回し体調の確認をおこなっている。 ・看護師は年間保健計画を策定し子どもの健康管理を行い、毎月保健便りを発行し保護者への啓発に努めている。 ・保健便りは、毎月発行し子どものサインやケアポイント、健診時に寄せられた保護者からの質問への回答など充実した便りになっており成長・発達・健康面でのサポートが充実している。 ・保護者は登園前にアプリで体調や自宅での過ごし方を知らせ、園は情報をもとに「視診」「触診」「子どもの様子観察」を行い、少しでも気になる子については看護師がより注意深く見守っている。
A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断や歯科健診で指摘があった場合は、保護者や担任と共有し、受診を促し、看護師が経過観察やフォロー、サポートを行っている。
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と面談を行い徹底した対策で誤食防止に努めている。 ・栄養士はみんなが同じものを食べられるように食材を変更するなど配慮している。 ・万が一の誤食の際に的確に行動できるようアレルギー児個々に対応チャートが作成され、エピペンを職員全員が扱えるよう研修を行っている。 ・対象児にはもちろんのこと、他の子どもに対しても他者に配慮できるよう「健康に過ごすために食べられない・触れられない食材がある」ことを伝えている。
A-1-(4) 食事		
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士は子どもが食事の時間を楽しむことを第一に考え、年齢ごとの年間食育計画を作成している。 ・子どもが食材や食べる事に興味が広がるよう、調理体験を実施していた。 ・また梅ジュース作りにチャレンジし、安全で楽しく体験できるよう絵本を活用し子ども達に日本の伝統や季節感を伝えていた。 ・給食だよりには食事やおやつ作りを楽しむ姿を保護者と共有できるようコメントと写真をたくさん日々の生活を伝えている。
A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士は毎日、クラスを訪れ、子どもたちの声を聞き、食事の状況を確認し、献立に反映している。 ・特に0歳児は咀嚼をはじめとしてどのように食べているかを注意深く観察し、必要に応じてその日のうちに改善している。 ・職員は下膳の際に感想を伝え、日々の調理に役立てている。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿を共有するために、連絡帳アプリなどの活用を行っている。 ・年に2回の保護者会や面談を通じて、さらに共有が図られている。 ・0～2歳児クラスは既存の計画に加え、写真を入れる事でより成長が保護者にわかるように努めている。 ・日々の成長の姿や次に伸ばしていきたい事など愛情がこもった言葉が綴られている。 ・さらに、保護者の負担を減らすためにアプリ連絡帳や離乳食の形態の参考となる写真配信、園からのお知らせ、オムツのサブスク、写真閲覧・販売、徴収金のキャッシュレス決済などを導入している。 	
A-2-(2) 保護者等の支援			
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所職員も積極的に声をかけ、保護者が話しかけやすい雰囲気作りに努めている。 ・また送迎時の挨拶と共に成長した姿やエピソードを具体的に伝え共に成長を喜び連携を図りやすくしている。 ・保護者の要望に応じて「保育見学」「保育士体験」を随時受け入れ、保護者が日中の様子を見て安心してもらえるようにしている。 	
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・早急にマニュアルを策定し、系統だった研修の実施を行ってください。 ・職員は日々の視診や保護者や子どもの言葉や連絡帳の内容、服装・仕草・表情など細かく気を配り、気になる事は主任や園長代理に報告し早期発見に努めている。 ・また保護者が一人で抱え込まないよう、声をかけ面談している。 ・職員は人権セルフチェックを行い自らの保育を客観的に見直している。 	

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、クラスまたは個人で保育の振り返りを行っている。 ・また「7・11月の自己評価」「人権セルフチェック」等で各自が客観的に振り返り質の向上に努めている。 	